

# akane.

あかね

医療を通じて人と地域を結ぶメディカル情報誌

vol.51  
2024 Winter

## ■ 土谷総合病院 地域医療連携室・入退院センター

地域の健康をつなぐ、地域医療の架け橋。患者さんが安心して医療を受けられるよう努めています。



いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう



医療法人 あかね会

師走に入り、日ごとに寒さが増してまいりました。皆さんにとって2024年はどのような年だったでしょうか。今年は能登半島沖の地震を皮切りに、度重なる豪雨や猛暑といった自然災害が多発し、私たちはその脅威に直面しました。これにより、BCP（事業継続計画）をはじめとする災害対策の重要性を改めて痛感する一年となりました。

医療業界においては、診療報酬の改定が行われ、私たち「あかね会」にとってもベースアップ評価料や看護必要度への対応に苦慮する場面が多々ありました。看護必要度の要件を満たすため、入院日数の短縮、地域包括ケア病棟への転床、後方連携病院や施設への転院促進を進めることで必要度を維持してきましたが、その結果、平均在院日数が短縮し、病床稼働率の低下も実感しています。こうした状況から、急性期病床の削減が国の方針に沿って着実に進んでいることを改めて実感しました。これからは、前方連携や後方連携を一層強化し、患者様にご満足いただける医療と介護の提供に努めてまいります。

今回の『akane vol.51』では、土谷総合病院の地域医療連携室に焦点を当てています。地域連携は、私たち「あかね会」の理念である「いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう」のためにも欠かせない要素です。また、現在土谷総合病院では、医師の時間外労働規制の中で救急受け入れ体制の強化を目指し、院内でワーキンググループを立ち上げ、働き方改革に即した体制づくりにも取り組んでおります。

最後に、今年9月2日、中島土谷クリニックにおいて薬品の入れ間違いによる塩素ガス発生事故が発生し、患者様および職員に健康被害が生じました。幸い、深刻な健康被害は避けられましたが、このような事故が発生したことについて、被害に遭われた方、ご家族の方、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。現在、各機関の助言をもとに「あかね会」として事故の検証と再発防止策の検討を進めており、今後もより安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

引き続き、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





## あかね会

## 法人ロゴ変更のお知らせ

医療法人あかね会で長年使用しておりました法人ロゴマークを変更いたしました。法人名の「あかね会」は、初代院長 土谷剛治が愛した万葉集の歌に由来し、その歌は、愛する人を待つ心を表しています。あかね会もまた地域社会への愛、人々の幸福を望み、地域への貢献を行なっていきたいと考えています。



## 「あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」

現代語訳：紫草の生えた野を歩き、標野を歩きながら  
(標野の)見張りが見やしないか、いや、見てしまうでしょう。  
あなたが(あっちへ行きこっちへ行きながら私に)袖を振るのを。

## 土谷総合病院

## 心臓血管外科

## 下肢静脈瘤血管内焼灼術(レーザー治療)・血管内塞栓術(ブルー治療)開始

心臓血管外科 副部長 <sup>もちづき しんご</sup> 望月 慎吾 医師 <sup>まえだ かずき</sup> 前田 和樹

これまで下肢動脈硬化性疾患による間欠性跛行・下肢潰瘍に対して積極的に治療に取り組んでまいりましたが、昨今、入院でも静脈瘤治療を行うことができる施設としてのニーズが高まり、下肢静脈瘤の患者さんを御紹介いただく機会が非常に多くなってまいりました。

当院には、下肢静脈瘤血管内治療の指導医資格を持ち長年下肢静脈瘤治療に携わってきた医師が在籍しております。「皆様のニーズにしっかりとした形で応えたい」との思いもあり、この度レーザー治療およびブルー治療を開始しました。患者さんのご希望・下肢の状態に応じて、いずれの治療も選択可能です。

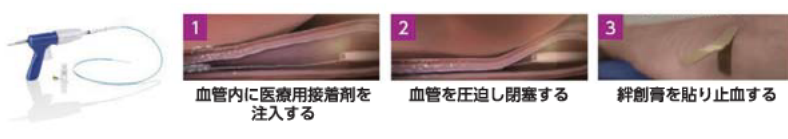
入院治療が可能なため、遠方からお越しの方・ご高齢の方等で治療翌日の検査来院が大変な方、治療後すぐに帰宅することが不安な方にもお応えできます。

ガイドラインに則って、治療適応の有無をしっかりと判断し、本当に治療の必要な方を見定めて誠実に治療を行ってまいります。下肢動脈硬化性疾患(間欠性跛行・下肢潰瘍)に加え、下肢静脈瘤治療に関しましても、何卒よろしく願いたします。

## レーザー治療



## ブルー治療



## 土谷総合病院

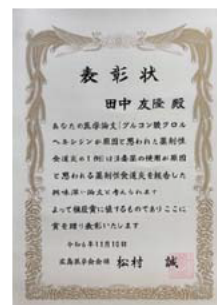
## 田中友隆医師、第77回広島医学会総会 槇殿賞 受賞

2024年11月10日に開催されました、第77回広島医学会総会におきまして、消化器内科 田中友隆医師が槇殿賞を受賞いたしました。

## 「グルコン酸クロルヘキシジンが原因と思われた薬剤性食道炎の1例」

(広島医学77巻5号 161-165 2024年)

【受賞コメント】上記論文が令和6年度 槇殿賞を受賞しました。インプラントの消毒液(グルコン酸クロルヘキシジン)によって食道炎を起こした症例報告です。グルコン酸クロルヘキシジンによる薬剤性食道炎の報告は過去に報告例がなく、詳細な内視鏡所見、病理所見も記載することが出来たので大変貴重な論文になりました。



# 地域医療をつなぐ 架け橋となり 患者さんを支えます。

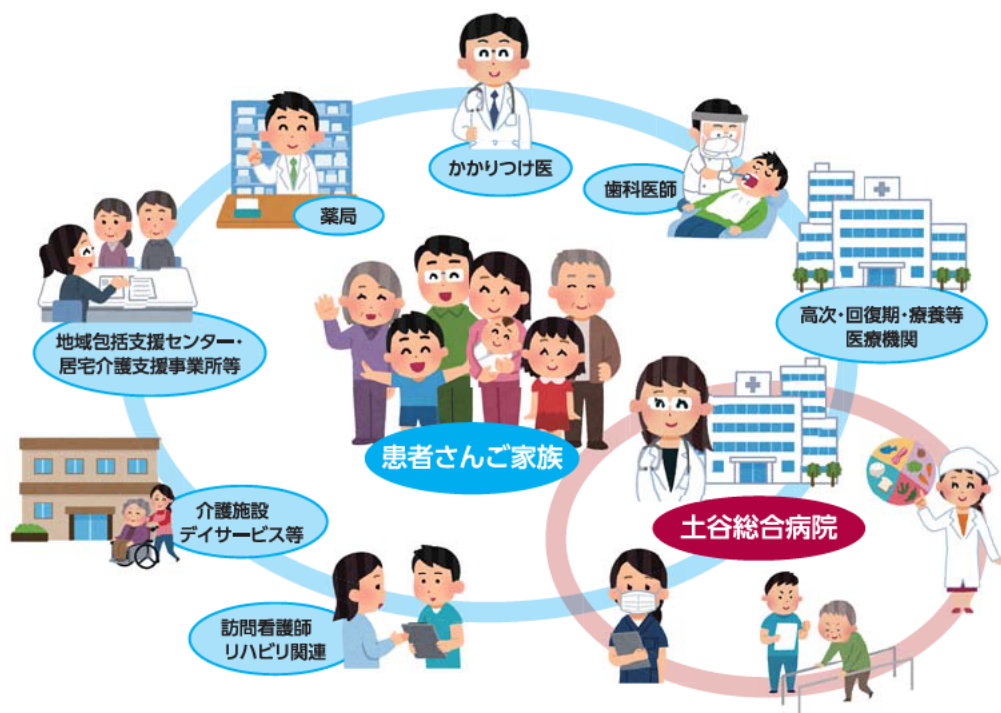
地域医療連携室 室長(循環器内科 部長) **為清 博道**



当院地域医療連携室は、「One for all, All for one」ひとはみんなのために みんなはひとつの目的のためにを行動指針として、当院と他院・他施設をつなぐ役割をしております。今回のakaneではその業務内容につきましてご紹介申し上げます。

主に、前方連携、入退院センター、後方支援、患者相談窓口の4つの機能を有しており、外来診療から入院加療、退院後の生活までを切れ目なく支援できるよう、多職種スタッフが協力して関わっていきます。

室長(医師)、看護師11名、医療ソーシャルワーカー7名、事務員3名の計22名で構成されており、病院と地域のかかりつけ医、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、介護施設などの橋渡し役となり、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、必要な支援を提供しています。



## 前方連携 ～患者さんのために地域と病院をつなぐ～

前方連携では、地域の先生方や施設の方々からの紹介や受診の希望をお受けし、かかりつけ医の推進(逆紹介)、歯科医との連携(周術期口腔機能管理)、訪問看護指示書の作成、広報活動などを行い、当院と他の医療機関や施設とのパイプ役として業務を行っております。また、前方連携には看護師が在籍しており、レスパイト入院の相談や当院への転院の調整も行っています。

何か困りごとがあれば、「地域医療連携室に相談してみよう!」と頼りにされる存在になりたい。そんな思いで私たちは日々取り組んでおります。



## ■診療予約～受診まで

地域の開業医・病院の先生方の窓口となり、紹介された患者さんが円滑に診療を受けることができるよう地域医療連携室では事前FAXによる診療予約を行っています。

### 1 紹介元医療機関(かかりつけ医)よりFAXでお申し込みいただきます

「診療予約申込書」と「診療情報提供書」を、受診予定日前日の17時00分までに、地域医療連携室へFAXをお送りください。

**地域医療連携室 FAX : 082-243-9223**  
**TEL : 082-243-9222**

※受付時間外にご連絡頂きましたFAXは、翌平日の午前中にお返事をさせていただきます。  
※診療予約申込書は、土谷総合病院ホームページよりダウンロードして頂けます。

PDF版

[https://www.tsuchiya-hp.jp/pdf/tiiki/shinryou\\_yoyaku\\_202312.pdf](https://www.tsuchiya-hp.jp/pdf/tiiki/shinryou_yoyaku_202312.pdf)

Excel版

[https://www.tsuchiya-hp.jp/pdf/tiiki/shinryou\\_yoyaku\\_202312.xlsx](https://www.tsuchiya-hp.jp/pdf/tiiki/shinryou_yoyaku_202312.xlsx)



### 2 地域医療連携室にて受診手続き

### 3 紹介元医療機関に「予約通知書」をFAXでお返事いたします

### 4 受診

### 5 受診されたことを報告します(『報告書』をFAXいたします) 後日担当医からお返事を送付いたします

●当日のご紹介や休日・夜間のお問い合わせは下記へお願いします。

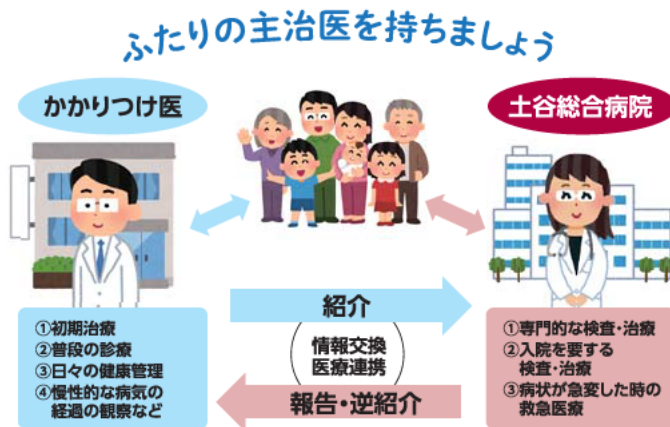
各診療科医師へお電話 代表 TEL : 082-243-9191

循環器内科ホットライン TEL : 080-1908-6660 (医療従事者からの電話専用) ※24時間対応可能

## ■かかりつけ医の推進

厚生労働省が推進するこの取り組みは、患者さんを中心として、地域のかかりつけ医と当院の医師が互いに連携して継続的な治療を行うことを目的としています。

普段はかかりつけ医に健康や病気について相談し、専門的な検査や治療が必要になった場合は、かかりつけ医よりご紹介いただき、当院へ受診していただけます。そして、当院で治療を受けられ病状が安定した患者さんは、地域のかかりつけ医へ経過の観察や引き続きの治療をお願い(逆紹介)しています。



## ■在宅医療相談支援窓口(中区医師会運営事業)について

医療機関、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等医療看護介護に関わる従事者からの、在宅療養患者の入院療養や在宅医療に関する相談窓口を設置しております。

【受付日】月曜日～金曜日：午前9時～午後5時(日・祝・年末年始・休診日を除く)

第2・第4土曜日：午前9時～12時

※土曜日につきましては、相談のみで対応は週明けになる場合があります。

【連絡先】地域医療連携室 相談窓口：082-243-9220 FAX：082-243-9223 (地域医療連携室専用)

※FAXの場合は、専用の相談申込書へご記入の上、送信してください。

専用紙は、中区医師会HP(中区在宅医療相談支援窓口運営事業)よりダウンロードできます。



## 入退院センター ～入院前からできること 院内へつなげる～

入退院センターでは、入院前から患者さんの情報を把握し、気になっていることや不安を解決して入院生活や治療に臨めるように関わっています。

医師が入院・手術などを決定すると、入退院センターの介入が始まります。

まず、問診票を記入していただき、患者さんの情報収集を行います。そして、パンフレットを使用しながら入院生活について説明します。手術・検査の予定がある方へは、説明用紙やクリニカルパスなどを使って入院中のスケジュールや必要物品について説明します。

入院案内時の様子から、認知機能の低下がみられる方や施設入所中の方などは、ケアマネジャーや施設担当者などから情報を得たり、入院に必要な準備（休薬や必要物品など）を依頼することもあります。

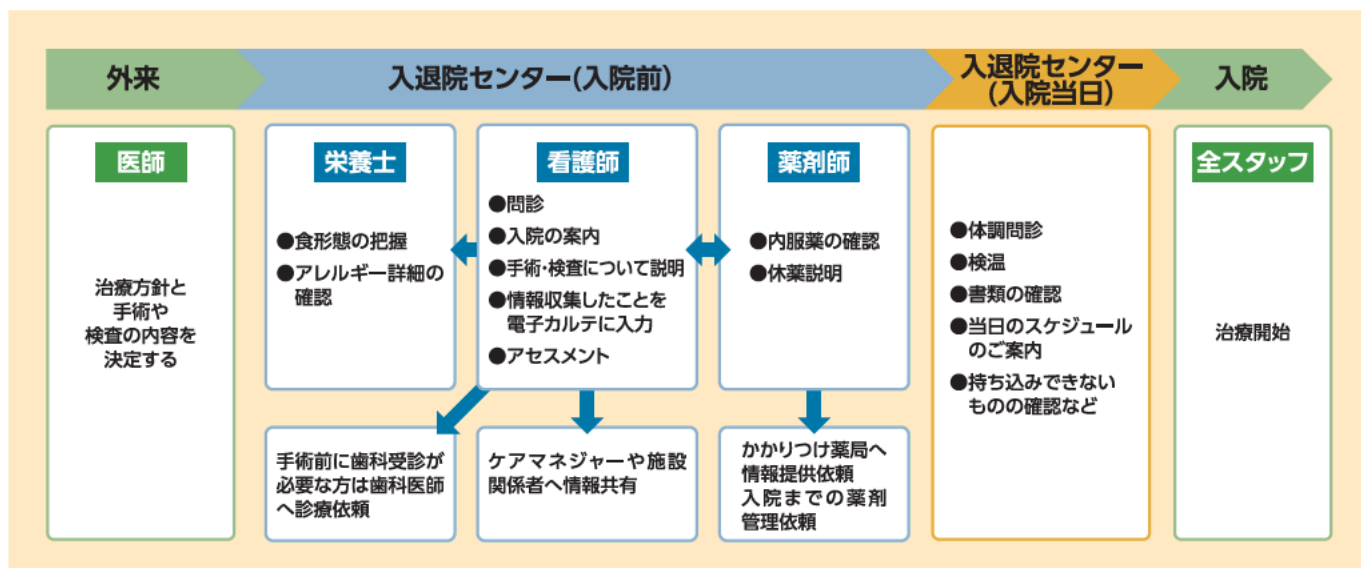
入退院センターには薬剤師が常駐しており、使用中の薬剤の確認や入院前の休薬説明なども行なっています。

また、食物アレルギーのある方は栄養士と入院中の食事についての相談が可能で、安心して入院日を迎えて頂けるよう支援しています。

看護師は、把握した情報から入院～退院(在宅生活)までに解決すべき問題点を抽出し、入院前から病棟看護師や後方支援チームと情報共有し、問題解決に向けて動き始めます。

入院当日は、入退院センターで入院手続き(入院誓約書など書類確認、体調問診・検温、持ち込み禁止物の確認など)を行い入院病棟へご案内します。

入院前に外来で検査や診察がある場合には、前日に各外来と打ち合わせをして患者さんをスムーズに案内できるように調整しています。





## 後方支援チーム ～患者さんやご家族の思いをつなぐ～



後方支援チームでは、医療ソーシャルワーカー（MSW）と看護師が協働し、退院支援や医療福祉相談をおこなっています。「患者さんやご家族の思い・支援を、切れ目なく次へ“つなぐ”こと」が私たちの役割です。

### ■退院支援

入院時から退院後の生活を見据え、患者さんやご家族の様々な不安や課題の解決に向けて、院内の多職種スタッフや地域包括支援センター、保健センター、居宅介護支援事業所等との連携を図りながら、支援しています。

例えば、病気やケガを機に身体機能が低下し、生活状況が変化することがあります。様々な事情から、スムーズにご自宅への退院が難しい患者さんもいらっしゃいます。「同居家族も高齢だし、自宅での療養生活は難しい。自宅以外の生活場所はないだろうか?」「介護保険サービスを利用したいけど、どうやって手続きすれば良いのか?」といった患者さんやご家族の不安に寄り添い、関係機関と連携し、課題解決にむけたサポートをさせていただきます。「退院=ゴール」ではなく、「退院=再出発」として、次の支援者へバトンをつなぎます。

### ● 退院支援の流れ ●

#### 入院前

●患者さんの入院前の生活状況や、ご家族の状況などについて情報収集をおこないます(介護保険や障害福祉サービスなどを利用されている方については関係者からも情報収集をおこないます)。

#### 入院

●退院支援が必要な患者さんをピックアップし、早期に介入します。

#### 治療期

●患者さんやご家族が、不安に感じていらっしゃることはないか、心配なことはないかなど話を伺いながら、今後の意向について確認していきます。

●診療方針などをもとに、退院に向けての目標や課題について、医師・看護師・理学療法士・栄養士など多職種と共有し、検討をおこないます。

#### 退院準備

●自宅退院の場合は、在宅関係者と連携し、退院前カンファレンスなどを行い、患者さんやご家族が安心して地域生活に戻ることができるよう調整支援をおこないます。

#### 退院

●自宅退院が困難な方については、施設入所や他の医療機関への転院などを調整します。



## 患者相談窓口 ～どんな小さな悩みでも、まずはお気軽にご相談ください。～

療養生活をおくる患者さんや支えるご家族にとって、治療だけではなく、医療費や生活、仕事、介護のことなど不安や悩みは様々だと思います。そうした不安をありのままに受け止め、解決していく方法を一緒に考えます。

相談内容については秘密を厳守し、患者様・ご家族に不利益を与えることはありません。相談の費用は不要です。

■設置場所 1階 地域医療連携室 代表 TEL:082-243-9191

■対応時間 月曜日～金曜日 9:00～16:00(祝日・年末年始・休診日を除く)  
※2回目からは、時間予約制

■担当者 看護師・ソーシャルワーカー(社会福祉士)・医療安全管理者  
※ご相談内容に応じて専門の部署に引き継ぐことがあります



## 地域連携医紹介

地域の医療機関との緊密な連携と機能分担を推進し、医療技術の向上を図ります。

# 蔵本内科

診療科目／内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科

院長 蔵本 憲

蔵本内科は、戦前に祖父が天神町（現平和公園内）で開業しておりましたが、原爆により建物が消失した後、戦後現在の大手町市役所前に移転しました。平成4年に祖父の引退に伴い閉院していた診療所を、孫である私が平成19年4月にリニューアルオープンいたしました。クリニックの特徴としては、専門の血液内科、生活習慣病を中心に、中区大手町というロケーション上、会社勤めの働いている方や、一人暮らしの高齢者など、幅広い年代の患者さまを対象にプライマリ・ケアを実践しています。診療で心がけていることは、患者さまとのコミュニケーションを大事にして、病気だけではなく、生活環境、仕事やご家族のことなどを配慮しながら診療にあたっています。土谷総合病院には、急性期疾患や高度な医療をはじめ、在宅や施設の高齢者の急変時など入院治療をお願いするなど、多岐にわたり本当に頼りにさせていただいております。これからも連携をとらせていただきながら、地域の多くの患者さまが安心して生活が送れるよう、身近なかかりつけ医として安全安心な医療を提供していきたいと思っております。



診療時間／平日9:00-13:00・15:00-19:00、木曜日9:00-13:00、土曜日9:00-12:00 休診日／日曜日、祝日

住所／〒730-0812 広島市中区大手町3丁目13-6 蔵本ビル2F TEL／082-504-7311 FAX／082-504-7312 公式サイト／<https://kuramoto-naika.com>

### 医療法人あかね会

## 土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3番30号 TEL:082-243-9191(代)

■阿品土谷病院 〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号 TEL:0829-36-5050(代)

■大町土谷クリニック 〒731-0124 広島市安佐南区大町東二丁目8番35号 TEL:082-877-5588(代)

■中島土谷クリニック 〒730-0811 広島市中区中島町6番1号 TEL:082-542-7272(代)

■介護老人保健施設シエスタ 〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号 TEL:0829-36-2080(代)

### ■在宅事業部(介護サービス部門)

#### 土谷訪問看護ステーション

中島 TEL:082-544-2789 西広島 TEL:082-507-0855  
大町 TEL:082-831-6651 出汐 TEL:082-250-1577  
佐伯 TEL:082-925-0771

#### 土谷ヘルパーステーション

光南 TEL:082-545-0311 西広島 TEL:082-507-0877  
大町 TEL:082-831-6654 出汐 TEL:082-250-5080  
佐伯 TEL:082-925-0770 戸坂 TEL:082-502-5205  
可部 TEL:082-819-2250 矢野 TEL:082-820-4825  
阿品 TEL:0829-20-3585

#### 土谷居宅介護支援事業所

光南 TEL:082-504-3202 西広島 TEL:082-507-0866  
大町 TEL:082-831-6653 戸坂 TEL:082-502-5215  
佐伯 TEL:082-925-1550 阿品 TEL:0829-20-3721  
矢野 TEL:082-820-4835

#### 土谷デイサービスセンター

光南 TEL:082-544-2885 大町 TEL:082-831-6600



### スタッフ募集

心豊かな医療を提供し、楽しく時間を共有しながらスキルアップに繋げるために、あかね会では、やる気のある方、経験豊富な方の募集を随時行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

土谷総合病院

検索

<https://www.tsuchiya-hp.jp/recruit/>



医療法人 あかね会

## 本部事務局

〒730-0811 広島市中区中島町3番25号

TEL:082-245-9274

<https://www.tsuchiya-hp.jp/>

